



学校HP↓QRコード



横浜市立川和東小学校 学校便り



自分 仲間 学校 まち 夢をつくる

Create

学年末号

発行日
2024年
3月22日



最後は「感謝」がわき上がる～卒業式後の職員室

学校長 高島 聡

3月19日に行われた卒業証書授与式。創立30周年の記念の年に、「大黒柱」

という学年目標のもと、学校全体をリードするとともに、地域に根ざした学びを推進した卒業生。8時30分からは全校児童が校庭に集まり、お別れ式を行いました。在校生はその後30分程度で下校しましたが、お世話になった6年生の輝く姿、そして素晴らしい代表児童のあいさつを直接目に焼き付けることのできた、価値ある時間でした。在校生代表の5年生児童のあいさつも心のこもった温かいものでした。卒業していく6年生を実際に見つめ、その向こう側に成長した未来の自分を見ることができるとない機会となりました。

卒業式の2週間前に5クラスのうち、2クラスを学級閉鎖にしたため、練習日程は大きな変更を余儀なくされました。しかし、「ピンチ」では、日頃積み重ねてきた力がものをいいます。全員がそろってからは「驚異的な集中力」で式の動きや歌唱をしっかりと表現できるように調整し、当日の態度は一人ひとりが実に立派で、美しいものでした。来年度は、5年生が最高学年となり、川和東小学校は31年目の春を迎えます。大きな節目の一年間に充実した学びを積み重ねたことで、川和東小学校は新1年生を加えた全校の子どもたちが、さらに安心して学び、子どもたちの笑顔がいっぱいの学校に成長していけると信じています。

式が終わり、保護者の方々とともに卒業生との名残惜しいお別れが一段落すると、職員室では「打ち合わせ」を行い、卒業学年担任が全職員に向けてあいさつをするのが恒例となっています。卒業担任一人ひとりの言葉を聞く時間は、とてもステキな場面となるのですが、最終的には全員の言葉が、子どもたちへ、地域・保護者の方々へ、他の職員への感謝の言葉に収束されていきます。何か事を成し遂げたあとには、感謝の心が自然に生まれると言います。そんな先生方の話をうなずきながら聞くことができた自分も、職員に、子どもたちに、地域・保護者の皆様に、一年間の感謝の気持ちがわき上がってきたのでした。

春休みが始まります。この時期は、咲き始めた桜の花びらとともに、別れと出会いの中で子どもたちが新たな一年に向けて期待を膨らませる期間でもあります。職員一同、しっかりと準備をし、そんな子どもたちに4月8日に再会することを楽しみにしています。

令和6年度も「学援隊の募集」～年間を通じて行います

子どもたちの安全を守ってくださる学援隊の方が減っています。川和東小のかわいい子どもたちの安全な登下校にご協力ください。年齢や性別は不問です！お問い合わせは学校副校長 942-8130

◎地域の皆様、保護者の皆様で、7：40～8：20ごろまでの間、ご自宅近くの交通安全ポイント（学校と相談して決定）にお立ちいただける方。また、放課後14：30～15：30にお立ちいただける方。

◎特に、加賀原、川和台、ふれあいの丘駅近辺の方を探しています。

・活動曜日や日にち等は、無理なく、できるときに（週一回でも）で構いません。

・来年度も、年間を通して募集を行い、月に一回は校長室で説明会を行う予定です。